

原子力規制委員会物品・役務等に係る契約適正化監視等委員会  
審議概要

開催日及び場所	令和5年1月27日（金）18階A会議室
出席委員 （五十音順）	委員 南島和久（龍谷大学政策学部教授） 委員 前田泰宏（EY 新日本有限責任監査法人公認会計士） 委員 升田 純（升田純法律事務所弁護士） 委員 山形康郎（弁護士法人関西法律特許事務所弁護士）
審議対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
委員会概要	<p>1. 委員長選出及び委員会の運営等について 委員の互選により升田委員を委員長に選出。また、委員会の運営に関する事項等について了承。</p> <p>2. 令和3年度の契約に係る点検・見直しについて （1）全体の契約状況（契約方式、件数、金額等）及び 前回委員会意見を踏まえた取組 事務局から資料に基づき説明及び質疑応答 （2）契約手続きの点検・見直し 事前に抽出した個別案件について、担当課室からの説明及び質疑応答</p> <p>3. その他 会議全体を通じての意見・感想 他</p>
抽出案件 （総数9件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競争入札方式 3件</li> <li>○ 企画競争方式 1件</li> <li>○ 参加者確認公募方式 1件</li> <li>○ 競争性のない随意契約 3件</li> <li>○ 不落随意契約 1件</li> </ul>
委員の意見等	別紙のとおり

審議における主な意見、感想等

1. 全体の契約状況及び前回委員会意見を踏まえた取組

- ・特に意見はなかった。

2. 契約手続きの点検・見直し

・一般競争入札において、応札者が一者しかいないときは複数回入札を繰り返しても、予定価格を類推させ競争性を阻害する要因となる。入札回数に制限を設けるなど競争性を確保する取り組みを検討すべき。

・企画競争方式において、技術委員会の採点で委員により配点にばらつきがみられ、特定の委員の採点結果により受託者が決定されることのないよう、採点基準を設けるなど検討すべき。

以 上